

出雲の花ごよみ

春

夏

秋

冬

	<p>菜の花 3月上旬～6月上旬</p> <p>毎年、伊波野コミセン周辺圃場一面で咲き、菜の花まつりも開催され多くの人で賑わいます。地元の農事組合法人が契約栽培し、市内の製油所により国産菜種油となります。</p>	
	<p>桜 4月上旬</p> <p>出雲市内には一の谷公園(約800本)、愛宕山公園(約600本)、斐川公園(約380本)など桜の名所が多く点在します。見頃は4月上旬です。</p>	
	<p>チューリップ 4月上旬</p> <p>見渡すかぎり広がる色とりどりのチューリップの絨毯は圧巻です。4月上旬頃には「春一番チューリップを今在家から」をキャッチフレーズにイベントが開催されます。</p>	
	<p>ツツジ 4月下旬～5月上旬</p> <p>新緑のころ、華やかに約2万本のつつじが咲き誇り、GWの頃にはイベントが開催されます。 (斐川公園管理棟 TEL.0853-72-3837)</p>	
	<p>ハス 6月下旬～7月上旬</p> <p>幾千年の時を経て、大輪の花開く奇跡の花、大賀ハス。荒神谷博物館前蓮池で約3千株を栽培しています。花の命はたったの4日間、午後には花びらを閉じるので、午前中がよきさいにご覧になれます。見頃は6月下旬～7月上旬です。 (荒神谷博物館 TEL.0853-72-9044)</p>	
	<p>ヒマワリ 8月下旬</p> <p>8月下旬頃には出雲縁結び空港周辺や福富地内に色鮮やかに咲き、訪れる人々をお出迎えします。地元の農業団体が加工用として栽培、加工品にはうどん、ドレッシング、石鹸などがあります。</p>	
	<p>紅葉 11月中旬</p> <p>鱒淵寺には、切込みが深く、葉が小さい「いろはもみじ」があり、11月中旬頃には紅葉まつりが開催されます。 (出雲観光協会 平田支所 TEL.0853-63-0893)</p>	
	<p>シクラメン 11月～12月</p> <p>赤紫・桃・白など色鮮やかな花と濃い緑でハート形の葉とのコントラストが美しく、心を和ませる冬の花の女王として人気の高い花です。11月中旬頃には出雲いりすの丘でイベントが開催されます。</p>	
	<p>椿 12月～4月</p> <p>荒神谷史跡公園では12月～4月にかけて600種800本の椿が咲きます。</p>	



お問い合わせ：出雲観光協会 斐川支所
 TEL. (0853) 72-5270
 発行：令和2年1月 発行者：花のまち出雲連絡協議会



花のまち出雲 花めぐりマップ

A lot of flowers map

四季それぞれに花や緑が自慢の美しい町、出雲。
花を愛でながら、神社や文化施設、温泉街を散策♪
見ごろの時期を逃さないよう、
今から予定をたててみませんか。

中国山地船遊山に源を發し、北に流れ
宍道湖に流入する。
川沿い地域には出雲神話「スサノオノミコトの
オロチ退治」にゆかりのあるスポット
が多い。

大國主大神を祀る神社。
旧暦の10月(神在月)には
全国の神様が集い、
様々な縁を結ぶ会議が
開かれる事から、
縁結びの神社として
知られている。

全国の神々が旧暦10月(神在月)に出雲に
集まり神議(かみはからい)と神宴(まひ)を
催される神社の一つ。
同月26日は神等吉出祭といひ全国に出発される
由緒を伝えている。

四季折々の島根の花の魅力と
ふれあえる公園です。
花に包まれて撮影できるSNS映え
スポットも園内各所にご用意しています。
園内にはお子様も安心の芝生の中で
お弁当を広げたりファミリーで
くつろげる広場もあります。

安産、水の守護神として有名。
八上姫が大國生命を慕い出雲の地に
来られ、御子が誕生。産湯とした三つの井戸
(生井、福井、細長井)は日本最古の井戸と
されて今でも絶えず湧き水が流れている。

銅剣が358本、銅鐸6個、銅矛16本が
出土し、「世紀の大発見」と言われた
荒神谷遺跡に隣接。
ショップには古代出雲関連の書籍や
オリジナルグッズが豊富。

「日本三美人の湯」の一つ。
神代の昔、大國生命と恋に落ちた美人の女神、
八上姫がはるばる因幡の国から出雲へ訪れた
時に、旅の疲れを癒やし、よりいっけう美しく
なられたと伝えられる。
お湯は保溫成分たっぷりでお肌のツルツルに
なる名湯。

出雲大社

しまね花の郷

一の谷公園

鯛淵寺

愛宕山公園

築地松

大和しじみ

宍道湖西岸
なぎさ公園

出雲緑結び空港

鶴華波精屋

万九千神社

万九千神社

斐川公園

御井神社

荒神谷博物館

湯の川温泉郷

